



令和3年10月27日

九州地方整備局

誰でもAIがつかれます！AI研修の実施 ～AIによる防災力向上等をめざして～

- 九州地方整備局では、AIを用いた防災力の向上や建設業界の働き方を変えるDXに取り組んでいます。
- さらなるAIの利活用促進のため、初心者が短期間でAIを構築する研修を実施します。AIへの理解を深め、防災力の向上等のAI利活用を促進することが目的です。
- また大学等に研修カリキュラムを提供し、社会全体へのAIの普及に貢献します。
- 作成するAIは従来技術では難しいとされている「中小河川の洪水を予測するAI」等です。今後、AIでの防災技術等の実現に向け、検討を重ねていきます。

1. 研修日時 令和3年11月4日（木）・5日（金）
*取材は、5日11：00から12：00といたします。
2. 開催場所 九州技術事務所 研修棟2F OARoom
（福岡県久留米市）
3. 添付資料
資料1：AI研修概要
4. その他
11：00から、講義室に隣接する部屋でAI研修についてご説明します。
（説明者：インフラDX推進室 房前建設専門官）
11：30から、講義室で受講生への研修取材等を実施します。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 企画部 インフラDX推進室

建設専門官 房前和朋（ふさまえ かずとも）（内線3317）

e-mail：fusamae-k8910@mlit.go.jp

TEL（代表）：092-471-6331 FAX：092-476-3465

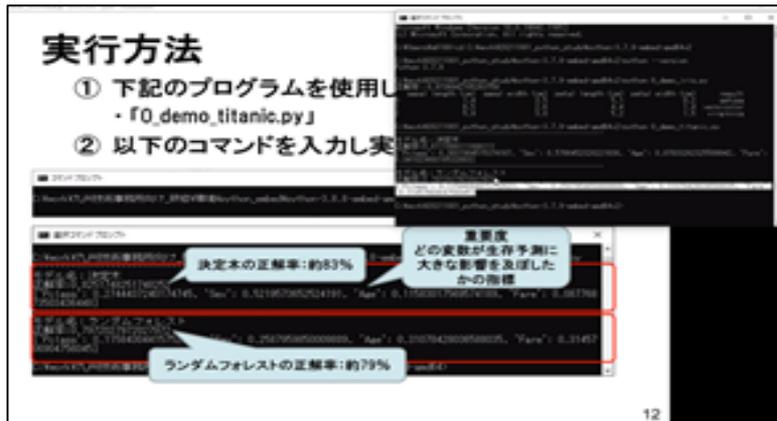
AI研修概要

○九州地方整備局では、AIの利活用や研究開発推進のため、R3から計画研修を新設。
11/4～5に対面式で研修を実施。

未経験者でも実際にAIを作成できるカリキュラムを作成し、事務系職員を含む20名が参加予定。実際に自分でAIの作成を行うことでAIへの理解を深めAI活用を促進することが目的です。

【研修内容】

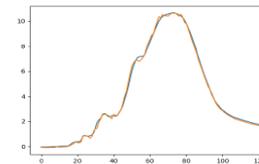
- ・整備局におけるAIの活用状況や他分野の事例学習。
- ・AI作成のノウハウ（システムのインストール、学習データの取扱い、AI作成手順など）
- ・題材は「中小河川の洪水予測」等とし、受講生一人一人が実際にAIを作成する。



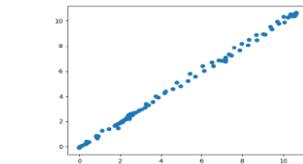
AIの学習に使用するデータの取り扱いや、実際のAIプログラムを経験することで、防災や業務でのAI利活用に必要なスキルを身に付けることが可能。

実行結果

テストデータ（実績値）に対する、AIモデルの予測結果を確認しましょう。



水位の時系列
青：実績値
橙：予測値



予測値と計算時の散布図
横軸：実績値
縦軸：予測値

両者が一致しているほど良い。直線状になっているほど良い。

従来技術では困難な中小河川の洪水予測を行うAIを作成。従来技術と比較し、非常に高速で予測を行う事や、能力の低いPCでも動作する等の利点がある。